

＜開催にあたっての背景＞

- 令和4・5年度生涯学習審議会で議論いただき、「人生100年時代における学びのあり方と方策」についてとりまとめた。
- 平均寿命の延伸や地域のつながりの希薄化など、社会環境が変化する中、生涯学習や世代間交流がこれまで以上に重要であり、生涯活躍のためには、地域の拠点である交流館の更なる充実が必要である。
- 令和6年度生涯学習審議会では、平成30年に条例改正した内容も踏まえて、交流館の現状と今後の方向性について検討する。

【調査審議事項】 [交流館のあり方と方策](#)

【委員任期】 令和6年7月1日～令和7年3月31日

＜1年間のスケジュール＞

	令和6年度/2024年度			令和7年度～令和11年度 /2025年度～2029年度
	7月～9月	10月～12月	1月～3月	
総合計画	第8次総合計画 後期実践計画			第9次総合計画 ミライ実現戦略
審議会	★第1回(7/24) ・これまでの振り返り ・交流館への期待と課題	★第2回(11/1) ・これからのあり方使い方 (機能・活用・利用など)	★第3回(2/17) ・あり方や方策まとめ (運営方針など)	よりよい交流館運営に 向けた運用
その他	【市民地域】アンケート等による意見聴取 【市役所庁内】総合計画策定の検討と合わせた調整 【指定管理者】交流館業務に従事する職員とのプロジェクトチームを設置			

<参考>生涯学習審議会とは

■設置目的(条例第2条)

生涯学習に資するための施策の総合的な推進に関する事項を調査審議するため

■役割(条例3条)

- 生涯学習施策に関する重要事項の調査審議【諮問・答申】
- その他生涯学習施策に関する調査審議

■過去の審議事項

平成26～27年度

【諮問】市文化ゾーンにおける文化創造拠点及び歴史継承拠点の整備方針について
(部会1)文化創造拠点部会 (部会2)歴史継承拠点部会

平成28～29年度

【調査審議】交流館のめざす役割と今後の方策について
【調査審議】これからのヤング・オールト・サポートセンターのあり方について

平成30～令和元年度

【調査審議】豊田市の高齢者の活躍支援について

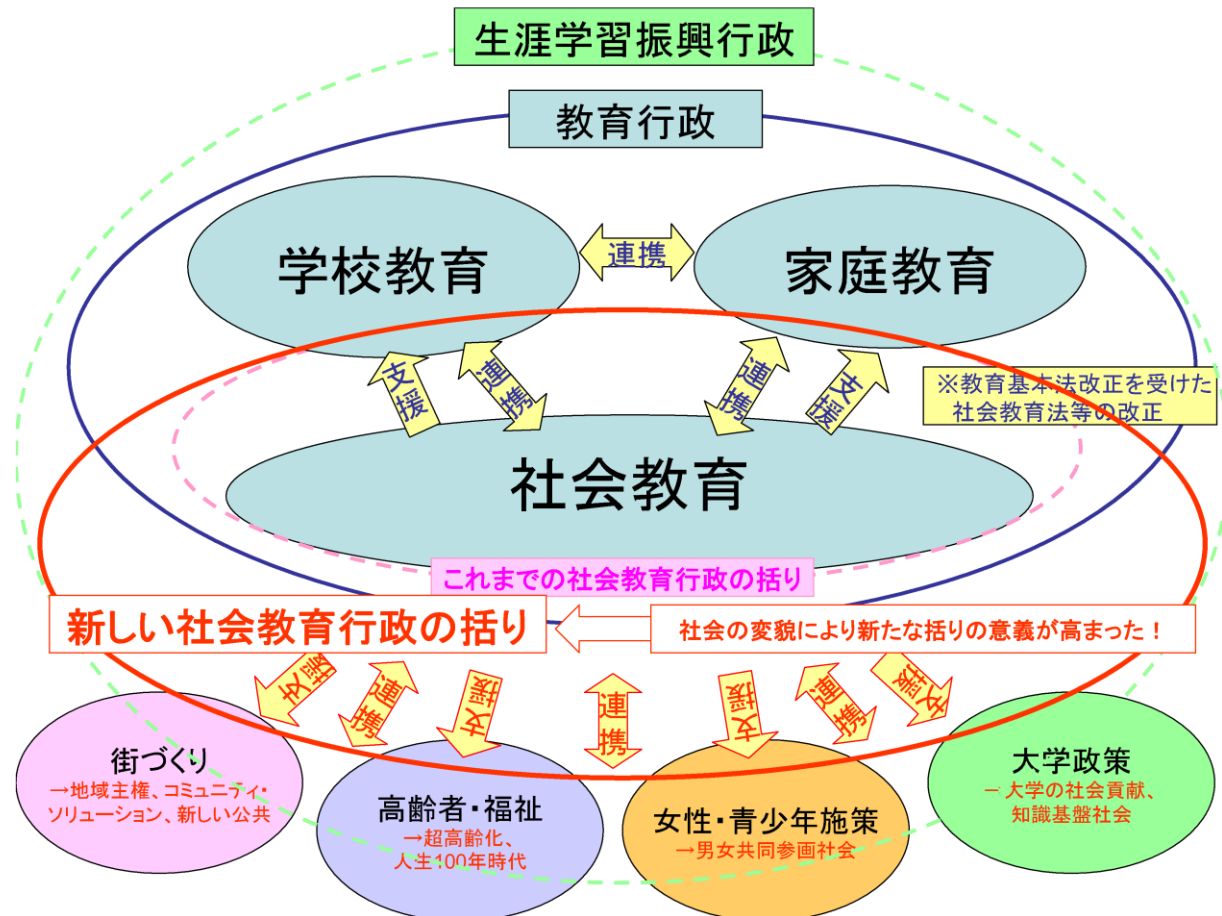
令和4年～5年度

【調査審議】人生100年時代の学びのあり方と方策について

<参考>生涯学習・社会教育の用語の定義

「生涯学習」とは、一般には人々が生涯に行うあらゆる学習、すなわち、学校教育、家庭教育、社会教育、文化活動、スポーツ活動、レクリエーション、活動、ボランティア活動、企業内教育、趣味など様々な場や機会において行う学習」

「社会教育」とは、学校の教育課程を除き、主として青少年及び成人に対して行われる組織的な教育活動(体育及びレクリエーション活動を含む)



引用:第6期中央教育審議会生涯学習分科会
における議論の整理(中間とりまとめ)

人生100年時代における学びのあり方と方策について

生涯学習・学びとは？



いつでも だれでも やりたいことに**挑戦**でき
つながりのなかで **学び・活動・体験**を通じて
豊かさや**幸せ**も実感(共感)できている



世代・属性を超えて 相互に学び合い

地域コミュニティでの
学びと実践

高齢化・過疎化
→ コミュニティの衰退



探究的な
対話的な学び

学び直し
(リカレント教育)

アントレプレナーシップ教育

世代間交流による学び
小中学校を活用して居場所に
できないか

学びの視点

学びの可視化と自己経営



社会的包括・SDGs

障がい者・乳幼児広い視点で

望ましい姿

まちの資源
の活用



人と人が
つながり合う社会

ひとを起点
にした施策



すべての世代が
活躍する社会

学び合いを通じた
ひとづくり



挑戦を支え
失敗に寛容な社会

まちの資源 ひと こと もの 情報



方策(施策・取組)

施策① 学ぶ機会と
場の充実



施策② 学びを生かす機会
地域活性化



施策③ 未来を担うひとづくり



施策④ 大人の学びと
ライフキャリア



三ツ石委員 古澤委員 古川委員 戸田委員 大山委員 坂元委員 鬼木委員 江理口委員 近藤委員 大岩委員 小宮山委員 牧野会長